

試聴会・訪問記掲載

ベガでマイベスト！～とっておきのシートをさがそう～報告(2015.8.21)

今回の報告はちょっと変わった企画で、ホールで実際の演奏を聴きながら、ホール内の場所によって音がどう変わるかを体験するものです。

<企画の内容>

ベガでマイベスト！～とっておきのシートをさがそう～

ホールや音のふしぎに出会える一日！

ホールは、実は聴く場所によって、音色がちがうって知っていますか？

聴く場所によって、見え方はもちろん変わりますが、音色もちがうんです！

小さくても美しい響きと評判のベガ・ホールで、そのちがいを体感してみませんか？

夏休みの絵日記や自由研究にぴったり！ぜひ親子でご参加ください。

出演 田村 緑 (ピアノ)



内容

【マイベストシートさがし】

13:30～14:45 (100名様限定・先着順)

様々な座席で音のちがいを聴き比べて、一番聴きやすい場所(マイベストシート)をさがします。

※舞台・客席を歩き回るため、歩きやすい靴でご来場ください。

【コンサート】 15:15～16:00

マイベストシートでコンサートを鑑賞

親子で楽しめるプログラムをお届けします。

曲目 ドビュッシー／アラベスク 第1番

ラベル／水の戯れ

サン＝サーンス／動物の謝肉祭より抜粋

音楽絵本「ぼくにピアノがひけたら」

朗読：平井 万津次（ななつきの朗読会）

作：栗山 邦生 構成：田村 緑

使用曲目：アンダーソン「ピアノ曲集」より

通常とはちがうこのコンサートのおすすめをご紹介します！

おすすめ①ベガ・ホールのいろ～んな場所でピアノの音がきけちゃう！

音のちがいを感ずるために、同じ曲をベガ・ホールのさまざまな座席に移動して聴き比べ！どの座席が一番良い音色かな～？

おすすめ②ステージにあがれます！

ステージにあがって、客席を見たら、どんなふうに見えるのかな～？

また、ステージで聴くピアノの音ってどんな音??

おすすめ③ピアノの下にもぐれる!?

ピアノの下で聴くピアノの響きは特別です！これは、体験してみる価値あり！

どんな響きなのかは、当日のお楽しみ☆

おすすめ④親子で楽しめる音楽絵本

今回は、夏休みに親子で楽しめるプログラムをたくさんご用意！

その中でも、絵本とピアノのコラボレーションは、おすすめのひとつ。

映像あり！朗読あり！耳だけでなく、目でも音楽が楽しめます！

<ホール概要と使用楽器>

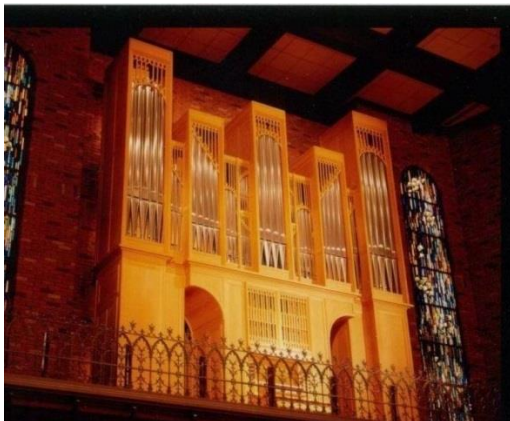
客席：372席（固定席）

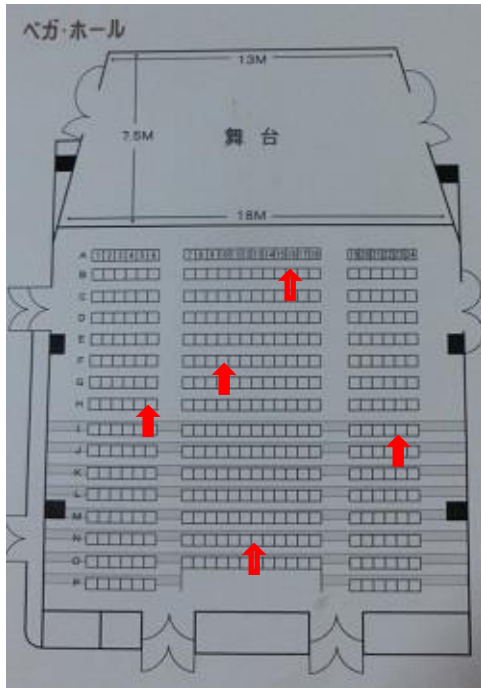
舞台：間口18メートル、奥行7.5メートル

舞台横控室：15平方メートル

ホワイエ：186平方メートル

使用楽器：スタインウェイ D274（1997年製）





当日のパンフを添付します。なお、演奏者の profile は下記 HP を参照してください。

<http://www.tmzm.net/>

2015.8.21 (金)
開演13:30 (30分前開場)

会場 **宝塚ベガ・ホール**
(阪急宝塚線清見駅下車徒歩3分)

出演 **田村 緑**
(ピアノ)

ホールのふしぎ・音のふしぎに出会える一日! あなただけのベストシートをさがそう!!

公演内容

第1部 マイベストシートがしのワークショップ (100名限定申込人数)

※当日の楽譜で自分の好きな曲を選び、一通り弾き、その曲に合った楽器(マイベストシート)を探してみます。
※舞台・楽譜も多数持参し、多くの方に楽しんで頂きたいです。

第2部 ピアノコンサート(児童15名予定)

※このコンサートは、児童の演奏です。
マイベストシートコンサートを鑑賞、親子で楽しめるプログラムをお楽しみください。
※観客も歓迎です。
【ピアノ・アフレコ専用1番音源】
音源制作は「ピアノがのびのび」ほか

料金

【ワークショップ】
7〜9歳未満(小学生未満) 親子 2,000円 片のみ 1,000円
一般 1,500円 片のみ 1,200円
小学生(6歳~小学生) 親子 550円
片のみ 500円

【コンサートのみ】
一般 1,000円(当日1,200円) 片のみ 800円
小学生 500円 (当日700円) 片のみ 400円
※当日の申し込み、当日券の申し込みは当日の受付にて承ります。

お問い合わせ
お問い合わせ先 宝塚市文化財団 後援 宝塚市 宝塚市教育委員会
お問い合わせ先 宝塚市文化財団 〒665-0845 宝塚市塚2丁目1-17/2F 1F
TEL:0797-85-8844 URL: <http://www.takazuka-c.jp/>



<経過>



入場準備



スタンウェイの打鍵メカ

まず、演奏者がピアノを弾いている間に4班に分かれて入場し、客席の間を前に進みながら左右に移動し、おおよその音の感覚をつかみます。所属した班は、先導者に従ってN列とO列、L列とM列、H列とI列、E列とF列、C列とD列の間を左右に移動しました。それからステージ上に上がってステージの上での音の違いを聴き取ります。ピアニストのすぐ背後から肩越しに聴くと、弦の響きがダイレクトに聴き取れ、客席の音とは随分違います。ピアニストの後方やピアノの前方の壁際だと高音は弱くなり相対的に低音の響きが強くなります。大屋根（反射板）の後方では高音がさらに弱くなり、ピアノの下から低音が響いてきます。大屋根のすぐ前方では高音が飛んでくるように聴こえ、低音はピアノの上と下から聴こえてきます。

この後、ピアノの構造や重量、ハンマーの材質、模型等を使っての打鍵メカニズムの説明、裸のオルゴールを響板において響きが大きくなるというデモなどがあり、列をつくってピアノの下に順次もぐりながら、響板の響きを耳と手で触った感触で実感しました。その後、客席に降りて、前後、左右に移動し、客席の位置による音の違いを感じ取ります。移動したのは下記で席の図で矢印をしています。それぞれの音の違いは下記のとおりです。

- N列 12番 小音量だと間接音が多く、音の輪郭がはっきりしない
大音量だと音の輪郭がはっきりしてくる
- B列 16番 小音量でも直接音が多く、明晰である
大音量だと高音がきつくなり、低弦の震えも分かる
- I列 22番 小音量だと壁からの反射音が多く、はっきりしない
大音量だと低音がよく響く
- H列 6番 小音量でも大音量でもかなりバランスが良い
- F列 10番 小音量でも大音量でも直接音、間接音のバランスや高音と低音のバランスが良い

最終的にはどれを選ぶかを決めるということでF列10番にし、小休憩の後、第2部に移りました。

第2部では解説や映写画面の表示を行いながら、子供向けの演奏や朗読があつて子供たちも静かに聴いていましたが、ラベルは聴きごたえがありました。

<経過>

客席の位置による音の違いがはっきり分かり、席を選ぶときの参考になりました。また、ステージ上での音の違いや、響板や大屋根の役割が分かり、ピアニストはどのような音を聴きながら演奏しているかが分かりました。ピアノ協奏曲の場合は、オーケストラの各パートの演奏者がどのように音を聴きながら、ピアノと音を合わせているかが分かり、ピアノ協奏曲の場合に大屋根を外すことがあることの意味も分かりました。

以上